

# SELENE 搭載用極端紫外観測装置 (UPI-TEX) の性能評価

## Performance evaluation of UPI-TEX for SELENE

# 村地 哲徳[1]; 吉川 一郎[2]; 山崎 敦[3]; 中村 正人[4]

# Tetsunori Murachi[1]; Ichiro Yoshikawa[2]; Atsushi Yamazaki[3]; Masato Nakamura[4]

[1] 東大・理・地球惑星; [2] 宇宙研; [3] 電通大; [4] 宇宙航空機構宇宙研本部

[1] Earth and Planetary Sci., Univ. of Tokyo; [2] ISAS; [3] Univ. of Electro-Communications; [4] ISAS/JAXA

惑星からの原子の散逸量を研究する方法として、原子（中性粒子・イオン）の共鳴散乱光を観測し、散逸量を求める方法がある。特に、H・He・O などの共鳴散乱光は極端紫外光領域にあり、極端紫外光を観測可能な光学系の開発が重要である。また、原子の空間分布やその時間変動などを観測するためには撮像観測が必要である。

我々のグループは、2006 年に打ち上げ予定の月周回衛星：SELENE に極端紫外観測装置 (UPI-TEX) を載せて、地球プラズマ圏や磁気圏の撮像観測を行う予定である。

本発表では、極端紫外観測装置 (UPI-TEX) の性能評価について報告する。